

社会資本整備審議会道路分科会 第39回東北地方小委員会  
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和5年2月1日（水）13:00～15:00

2. 場 所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 12階 大会議室

3. 出席委員

小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授
葛西 誠	秋田工業高等専門学校 創造システム工学科土木・建築系 准教授
川崎 興太	福島大学 共生システム理工学類 教授
菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授
齋藤 幹治	（一社）東北経済連合会 専務理事
高樋 忍	（公社）青森観光コンベンション協会 理事
宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授

4. 議事内容

□審議結果

【国道4号 白石市斎川～大平森合】計画段階評価（1回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・第1回意見聴取を進めることで了承された。

【国道4号 大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田】計画段階評価（1回目）

- ・審議内容は概ね妥当とされた。
- ・第1回意見聴取を進めることで了承された。

□主な意見

【国道4号 白石市斎川～大平森合、大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田】

- ・事業者へのアンケート調査は実際の利用者を対象とすることが重要。
- ・新たな地域開発を踏まえ、生活利用に配慮した計画を検討すること。
- ・アンケート調査は通行止めの影響を把握するため、東北道利用者への調査を検討すること。
- ・アンケート票はわかりやすい表現や視覚障害者に配慮した色使いとすること。
- ・通勤と通学は区別してデータ分析し、アンケートも区別して分析できるよう工夫すること。
- ・高齢化が進む地域であるため、アンケートの主な利用目的に通院を追加してほしい。
- ・回答ハガキは世帯別の回収率を確認できるよう工夫すること。
- ・Web回答はアンケートを知ったきっかけを分析できるよう工夫すること。

【その他】

- ・個別区間を分析することに加え、広域ネットワークとしての機能や役割について、分析することも検討すること。